

見どころ案内

ミヤコワスレ (キク科)

本州、四国、九州の山地に自生するミヤマヨメナの園芸品種につけられた名前前で、紫、白、ピンクの花色があります。

早咲きのバラ (バラ科)

連休辺りからバラ園の上り口にあるツルバラのリージャンロードクライマーが咲き始めて来るといよいよバラのシーズンとなります。また、バラ園からは宮島も眺望できますので、是非足を運んでみてください。

シャクナゲ

(ツツジ科)

さまざまな品種が咲き始めました。遠くからでもはっきり見える存在感のある豪華な花木です。

ゴールデンチェーン

ツリー (キントラノオ科)

ブラジル原産の常緑樹で、金色の花を鎖状につけるのでこの名があります。全国での開花も珍しい花です。ヒスイカズラも連休中に咲き始めそうです。

ハンカチノキ (ミズキ科)

花についた白い大きな二枚の苞(ほう)が良く目立つため「ハンカチの木」、「幽霊の木」と呼ばれています。英名ではそれ以外にハトの木(Dove tree)と呼ばれていたりもします。

フジ (マメ科)

紫色の花が咲き始めています。満開になると約40mの棚全体から花がぶら下がって来ます。他のマメ科の植物と同様に蔓を使って椅子や鞆などの工芸品を作れます。

2019年4月27日

通巻第412号

展示会のご案内

◇展示資料館 1F (4/6~5/6)

おし花美術作品展

◇展示温室 (4/27~5/2)

春の洋ラン展

◇屋外展示場 (4/27~5/6)

クレマチス展

アイラトビカズラ

(マメ科)

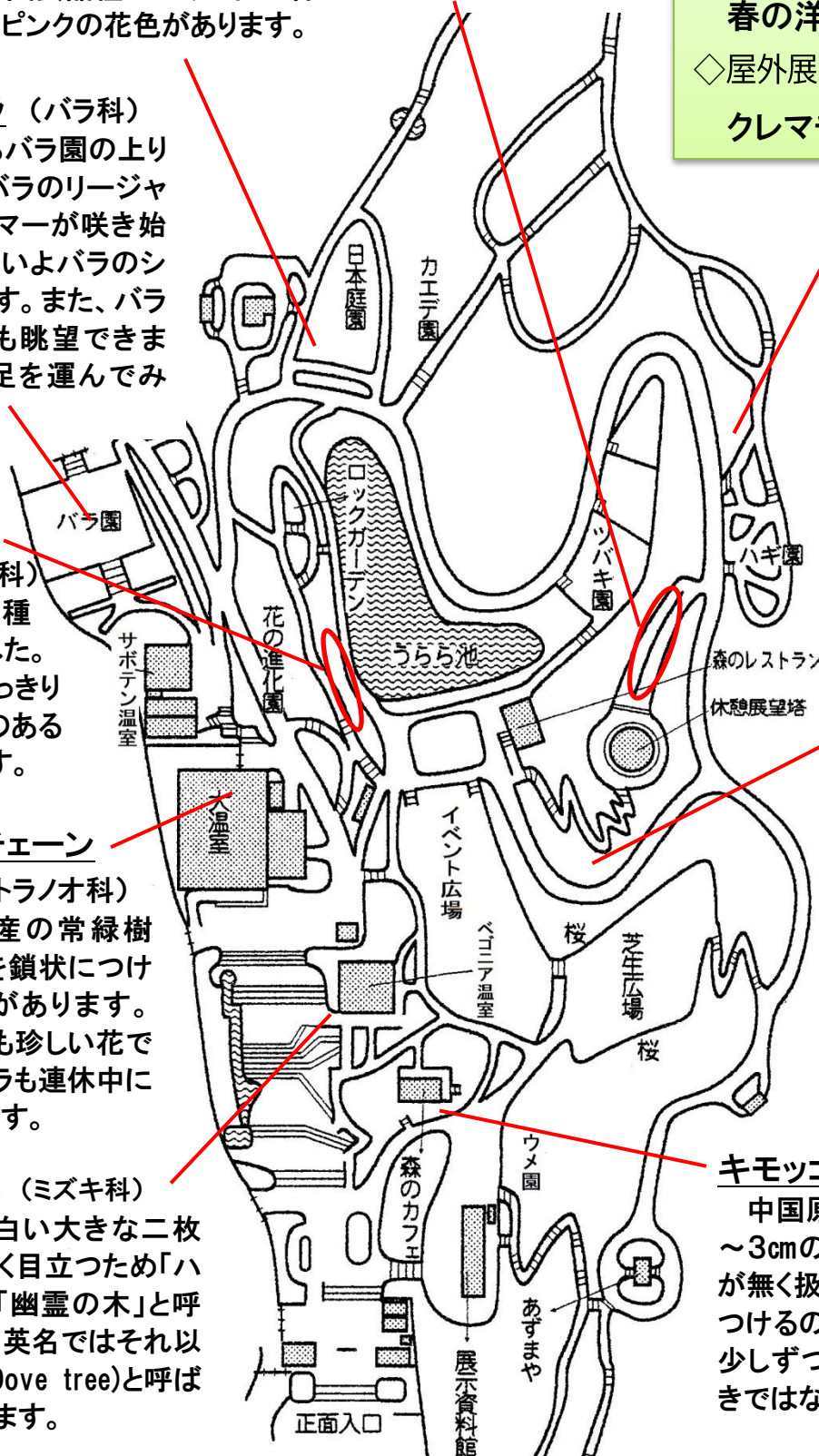
日本では熊本県の相良と天草、長崎県の九十九島でしか確認されていない珍しい植物。暗紅紫色の大きな花が房咲きに咲いています。以前スイレン温室で咲いたことがあります。屋外に植栽した株が咲くのは今回が初めてです。

ヒラドツツジ (ツツジ科)

常緑低木で4~5月に大きな花を開花させ、庭木、公園木、生け垣などに使われます。古くから長崎県平戸市で栽培されて来たことからこの名前がついています。斜面いっぱい咲き誇っていますので、見応えがあります。

キモッコウバラ (バラ科)

中国原産の常緑低木です。直径2~3cmの小さい花を咲かせます。棘が無く扱いやすく、小さな花を大量につけるので、見応えがあります。蕾が少しずつ開きかけています。八重咲きではなく、珍しい一重咲きです。



♣毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します♣

♣毎月第2火曜日・第4土曜日 午前11時~は、職員による植物うんちくガイドを実施します♣